

より良いマイタウンを造るための写真集 part 2

## 強化板工法15の特長





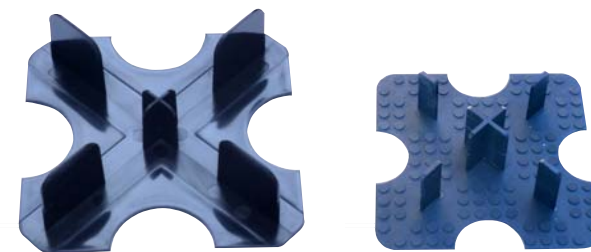
金沢市 県庁前大通り

## 1 たわみ性構造

強化板の挿入で、たわみ性構造へ。

アスファルトやクラッシュラン等のたわみ性路盤上に施工する平板の表層は、たわみ性でなければなりません。

強化板工法は、強化板を介して前後左右にヒンジ機能を有し、たわみ性構造となっています。即ち、このたわみ性構造は、アスファルト舗装同様の施工の利便性を有していることから、街づくりに最適な工法となっています。



強化板

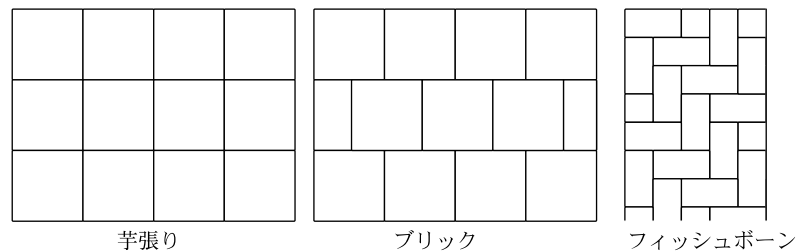
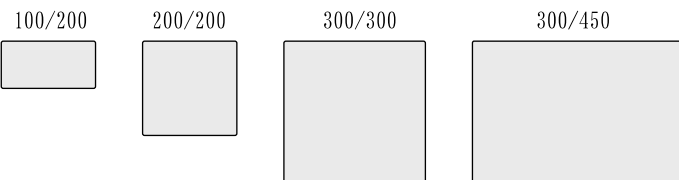
## 2 景観性

材質・モジュール&パターン



多様な景観舗装が得られます。

材質、モジュール、敷設パターンが自由を選べます。これにより、景観性に優れた施工ができます。



芋張り

ブリック

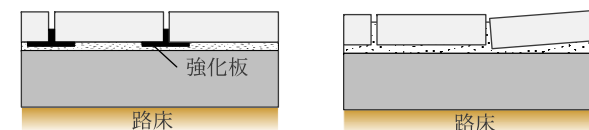
フィッシュボーン

## 3 バリアフリー

段差・ズレ防止

強化板あり

強化板なし



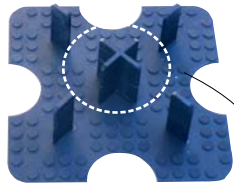
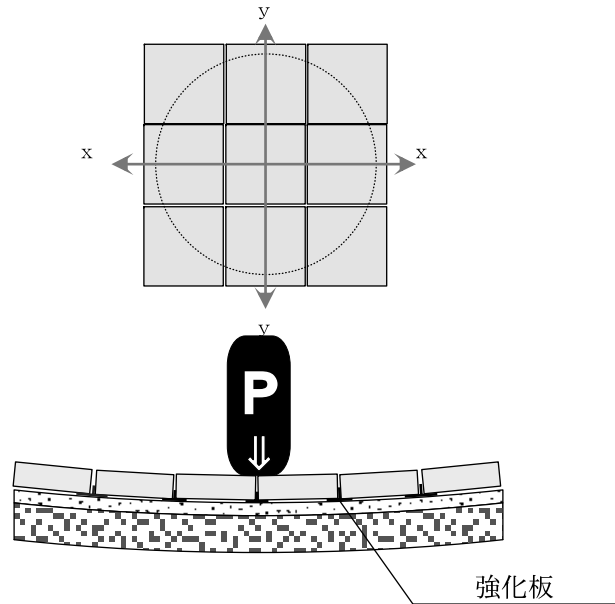
段差・ズレをしっかり防ぎます。

強化板工法は、靱性に長けた強化板によって、繰返し荷重に耐えて、長期間段差・ズレを抑制します。特に、舗装の破損要因である平板のズレを防止する機能に優れています。

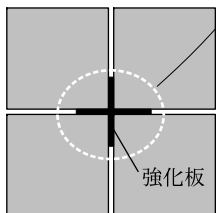
## 4 維持管理

維持管理や復旧工事が容易に行えます。

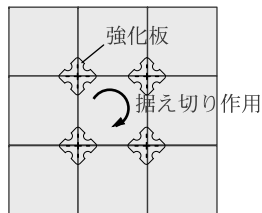
普段の維持管理は勿論、地震災害時の修繕を考慮して工法を選択することが大切です。強化板工法は、平板の差替えが容易で復旧工事が容易に行えます。



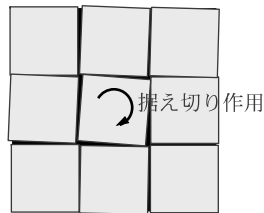
ズレ防止の要・縦横  
連続のズレ防止板



ズレ対策あり



ズレ対策なし



## 5 工法の信頼性

豊富な施工実績で、信頼性の高い工法。

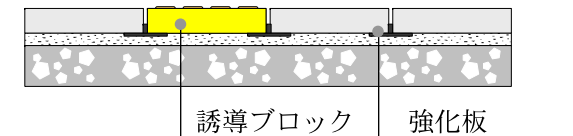
強化板工法は、歩道は勿論、車道や駅前広場や建物アプローチ等多くの施工実績を有しています。特に、車乗り入れ部や車道における施工実績は、本工法の信頼性を高めています。



## 6 すりつけ



誘導ブロックとのすりつけ



## 7 ポンピング現象

ポンピング現象を抑制します。

車の乗り入れ部や車道では、ポンピング現象による敷砂の噴出しの抑制が極めて重要。

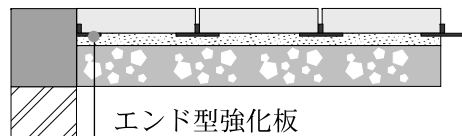
強化板工法では、強化板で、目地部の敷砂を蓋し、敷砂の吹き出しを防止して、ポンピング現象による平板下の空洞化を抑制しています。

すりつけ部は、しっかりしています。

誘導ブロックや縁石等のすりつけ部の段差や沈下防止は、しっかり行われています。



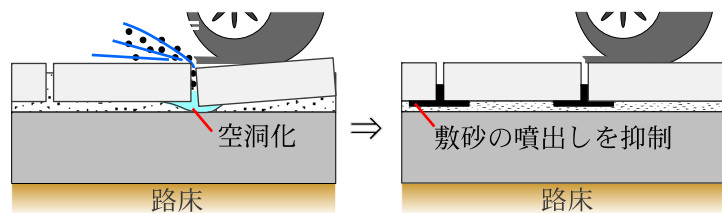
縁石とのすりつけ



和倉温泉総湯館駐車場出入口

ポンピング現象対策なしの時

ポンピング現象対策ありの時



噴出しを抑制した供用後の敷砂状況

## 8 細粒化

敷砂の細粒化や支持力の低下を抑制します。

乗用車が頻繁に出入りしたり、大型車が入出する歩道の車両乗入れ部や車道では、輪荷重による敷砂の細粒化（泥化）や雨水浸透による敷砂の支持力の低下を抑制しなければなりません。強化板工法は、撥水性の特殊敷砂ブロックサンドでしっかりと対応しています。



車道には撥水性敷砂ブロックサンド



埼玉県 武蔵高萩駅

## 9 全天候型工法

少々の雨でも工事が続行できます。

撥水性敷砂ブロックサンドを用いることで、雨天時の施工も可能で、計画通りに工事ができます。この全天候型工法は、建設コスト縮減と共に、突貫工事や夜間工事において有効な工法です。



## 11 水溜りの防止

透水平板に最適な工法です。

広場では、バリアフリー対策として排水勾配を小さくすることがあります。その際水溜りを防ぐため透水性平板が用いられ、均し層には、敷砂が用いられます。強化板工法（断面A）は、地中への雨水浸透を確保するために敷砂を用いても、段差やズレが起きないように強化板を使用しています。

## 10 即時交通解放

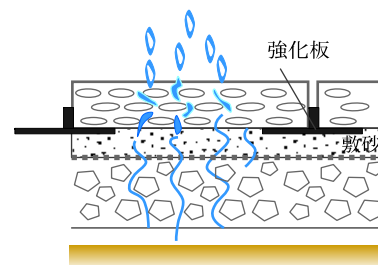
工事しながら車の出入が可能です。

歩道の車両乗入れ部や車道では、即時交通解放が重要な要素。

強化板工法は、乾式のたわみ性舗装工法であることから即時交通解放が可能です。

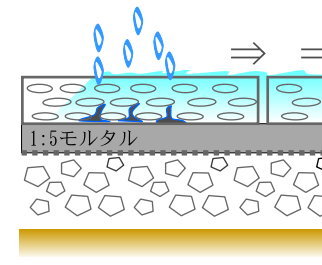


断面A 強化板工法



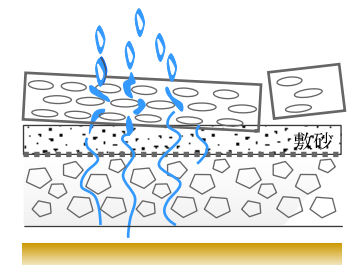
断面B 敷モルタル工法

透水しません



断面C 砂敷き工法

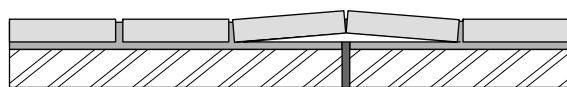
段差が起きます



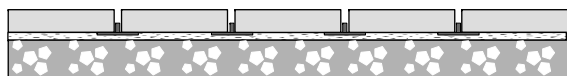
## 12 ブローアップ現象

膨張収縮目地は必要ありません。

広場や歩道では、夏場に多く発生しているブローアップ現象に注意が必要です。強化板工法の砂目地は、熱膨張力を吸収しブローアップを抑えます。これにより、施工性や景観性や建設コストに支障をきたす膨張収縮目地は必要としません。



夏場の膨張によるブローアップ現象



各目地で熱膨張力を吸収する舗装構造



石川県能登 宇出津駅鉄道緑地広場

## 13 雑草抑制

雑草防止対策が講じられています。

郊外の舗装等では、雑草が生えるリスクが高まります。強化板工法は、撥水性メジモールサンドの使用で、この雑草を抑制することができます。またメジモールサンドは、透水性平板にも使用することができます。

## 14 圧密沈下

埋立地などの圧密沈下に対応します。

埋立地における平板舗装は、路床、路盤が安定していないため圧密沈下による段差発生のリスクが高くなります。

強化板工法は、強化板の機能によりこの圧密沈下による段差を抑制します。

## 15 ゲリラ豪雨

目地砂流失防止

目地砂の流失を防ぎます。

ヒートアイランド現象によるゲリラ豪雨時の目地砂流失に注意しなければなりません。

強化板工法は、強化板のチャンネル（垂直版）が砂防ダムの役割をして、目地砂の流失を抑制します。



強化板工法の特長と舗装の用途との関係

強化板工法の特長	舗装の用途				
	歩道		車道	広場	アプローチ
	一般 歩行部	車両乗 入れ部			一 車 場
1. たわみ性構造	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 景観性※1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. バリアフリー※2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 維持管理	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 工法の信頼性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. すりつけ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
7. ポンピング現象		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
8. 細粒化		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
9. 全天候型工法		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
10. 即時交通解放		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
11. 水溜り	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>	
12. プローアップ	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13. 雑草抑制	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>	
14. 圧密沈下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15. ゲリラ豪雨※3	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※1 モジュール&パターン

※2 段差・ズレ防止

※3 目地砂流失防止

用途別に特に重視する特長

**PAVTON**

株式会社津田パイブトンテクニク

〒920-0921 石川県金沢市材木町16-13

TEL 076-221-9712 FAX 076-221-9713

E-mail tt.pavton@adagio.ocn.ne.jp

URL pavton.jp